

# お寺の子ども会 西教寺蔵本通支坊 2016.11.13 呉市中央 7-7-13 Tel 21-2798 E-mail:nikkou@saikyoji.net

西教寺蔵本通支坊 2016.11.13 呉市中央 7-7-13 Tel 21-2798 E-mail:nikkou@saikyoji.net

## 10月 落ちたら負けよ、じゃんけんぽん!

十月は、先月の「聞く観音・聞かぬ観音」のお話の後、二人ひと組で、じゃんけんて負けたら座布団を重ねていって、「落ちたら負けよ」ゲームをしました。楽しそうな素敵な写真がたくさん撮れたと思っていたら、SDカードが入っていませんでした(涙)。ということで、今回も写真はなしです。すみません。

### いのちの優劣

話かわって、十月のご法座(仏さまの教えを聞く会)で忍関先生から聞いた話をご紹介します。

この夏、障害者施設に侵入し、十九名もの命を奪った事件がありました。犯人は「障害者は周りの人を不幸にする。いない方がいい」と考えていました。この考え方は、ナチスの「優性思想」と同じだと

指摘されています。「優性思想」とは、「障害の有無や人種等を基準に人の優劣を定め、優秀な者へのみ存在価値を認める」という思想のことで、いのちに優劣をつけ、劣った者を排除しようとする考え方です。

また、新聞も匿名報道だったそうです。犯人と同じ考え方を持った人により、遺族が二重に傷つくことに配慮したのかもしれませんが、このことは一時的な対処方法かもしれませんが、抜本的解決にはなっていない。何の差別もない社会であれば何も「隠す」必要はないのです。「隠したこと」に逆に問題はなかったでしょうか。

よく「健康が一番」という言葉を聞きます。それはまさにその通りですが、では「健康でないいのち」はどう考えたらよいのでしょうか。

うか。「健康が一番」なら健康でないのちは「劣った」「つまらない(広島弁でつまらん)」「いのちなのではないか」。

若くて健康な時代を過ごした人でも、長く生きていけば、年をとり、ほとんどの人は健康でなくなつて、最後は病気で死んでゆかねばなりません。長く生きていけば必ず経験せねばならない、避けて通れない人生の一部ですよね。



最後の死にいたつては、私の現場では、亡くなったことを隠す、秘密にして火葬する人が昨今増えています。「どうして秘密にするんですか」とお尋ねすると、

多くの方が「わざわざ来てもらうと迷惑がかかるから」とおっしゃいます。私の印象では、そのようなお葬式は、老若を問わず、長く患つて亡くなった方のお葬式に多い気がします。

もしかして、役に立たなくなつたつまらぬいのちで命ではないから、知らせると社会(皆さん)に迷惑がかかると考えているのであれば、ご家族自らがいのちに優劣をつけていっていることになりはしないでしょうか。

役に立たない者は隠されて火葬されるつて悲しいですね。そうではなくて、役に立つても立たなくても、親戚、友達、ご近所など、その人を大切だと思つている人が集まつて涙を流して送る、そういうのが温かい、そんな世の中がいいと私は思うのです。

### ●次回12月、お寺の子ども会は、

12月26日(月)  
10時20分〜15時

### 報恩講ほとけの子の集いです。

みんな遊ぶ楽しいゲームや、ビンゴゲーム、



尺八の先生が来てくれて日本の古い楽器で演奏、邦楽体験もできるゾ。



詳しくは別紙をもらってください。参加500円。



報恩講とは、親鸞さまに感謝し、報いる法要です。